2026 年 11 月 17 日
東京製鐵株式会社

“ラスボス”小林幸子が、突撃企業訪問！

“社内カフェ”で、まさかのトップ営業！？
低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」で脱炭素社会を牽引する東京製鐵×日本通運のコラボ動画を YouTube で公開！

国内最大手の電炉鉄鋼メーカーである東京製鐵株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：奈良暢明、以下「東京製鐵」）は、当社のチーフサステナビリティオフィサーを務める歌手の小林幸子さんと、NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社（社長：堀切智）のグループ会社、日本通運株式会社（社長：竹添進二郎　以下、日本通運）のご協力を得て、当社低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」の受注を契機とした「商談イメージ PR 動画」を作成いたしました。本動画は、小林幸子さんの公式 YouTube チャンネル「小林幸子は YouTuBBA!!」で公開されます。



また、本動画の公開に先立ち、小林幸子さんを起用した新たな広告キービジュアルを公開するとともに、東京駅をはじめとする主要駅での交通広告を順次展開しています。

■ 鉄鋼×物流×エンターテインメント！ 前代未聞の「ガチ商談」に密着

本動画は、東京製鐵の CSuO（チーフサステナビリティオフィサー）に就任している小林幸子さんが、東京製鐵・奈良社長とともに、業務を通じて長年のお付き合いがある日本通運本社に突撃訪問するというドキュメンタリータッチのバラエティ企画です。

グローバルに物流事業を展開する日本通運の応接室、そして「社内カフェ」を舞台に、地球環境に貢献する低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」の採用を目指して、ラスボス・小林幸子さんが前代未聞のトップ営業を仕掛けます。

■動画の見どころを一部先行公開！

見どころ①：ラスボス、迷いなく日本通運の受付へ！目指すは応接室！

「大事な商談に来た」と意気込む小林さん。アポなし（？）を疑うスタッフを尻目に、堂々と受付を突破して日本通運・竹添社長の待つ応接室へ。物流拠点でのド迫力の鋼材輸送 VTR も必見です。

見どころ②：舞台は応接室から「社内カフェ」へ！？

小林さんたっての希望で、一行は日本通運の社内カフェへ。和やかに会話が弾む中、話題は日本通運が関西で進める巨大な新倉庫の建設プロジェクトへと広がっていきます。

見どころ③：特製グッズでゴリ押し営業！？「ほぼゼロ」は採用されるのか

新倉庫の建材として、東京製鐵の低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」を猛プッシュする小林さん。竹添社長に対し、特製アクリルキーホルダーを差し出して決断を迫るという強引な“ラスボス営業”が炸裂します！果たして社内カフェで商談は成立するのか、結末はぜひ動画でご覧ください！

■撮影エピソード

“ラスボス営業”として、低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」の商談に臨んだ小林さん。撮影が進むにつれて熱が入り、手渡すアクリルキーホルダーの数も 2 つ、3 つと次第に増えていきます。さらに、勢いに乗った小林さんから予想外のアドリブが飛び出し、現場は大きな笑いに包まれました。芸能生活 60 年を超える小林さんならではの巧みな話術と、驚きの展開を見せる“ラスボス営業”の全貌を、ぜひ動画でお楽しみください。

■撮影を終えてのコメント

小林 幸子さん（東京製鐵株式会社 CSuO）

「芸能生活 60 年を超えて、今回初めて「鉄の営業」に挑戦させていただきました。温かく迎えてくださった日本通運の竹添社長、そして東京製鐵の奈良社長と共に、とっても楽しく撮影することができました。東京製鐵の CSuO として、脱炭素に向けて、さまざまな企業が力を合わせて取り組んでいることを、改めて学ぶことができました。この動画を通して、環境のことを少しでも身近に感じていただけたら嬉しいです。」

奈良 暢明 氏（東京製鐵株式会社 代表取締役社長）

「鉄鋼業界の脱炭素化には、物流分野の削減も欠かせない要素です。日本通運様のような先進企業とのタイアップを通じて、小林幸子 CSuO と共に我々の取り組みを広めていきたいと思います。」

竹添 進二郎 氏（日本通運株式会社 代表取締役社長）

「この度は、東京製鐵様、さらに小林幸子様とご一緒させて頂く貴重な機会を頂き、大変有難く存じます。弊社にとっても環境課題への対応は重要なテーマであり、今後も東京製鐵様をはじめお客様のご理解、ご協力を頂きながら、CO_2削減などに取り組んで参ります。」

■動画概要

・動画タイトル：「【突撃訪問】ラスボスが大企業へ突撃！社長に直談判しに行った結果…」
・公開日時：2026 年 11 月 17 日（火） 11:00～
・公開先：小林幸子公式 YouTube チャンネル「小林幸子は YouTuBBA!!」
・URL：https://youtu.be/ZG7Nj2_tRp8
※本動画は、東京製鐵株式会社によるプロモーションを含むタイアップ企画です。
・出演：小林幸子、東京製鐵株式会社 代表取締役社長 奈良暢明、日本通運株式会社 代表取締役社長 竹添進二郎 ほか

■新広告キービジュアル「森の泉」編



■交通広告概要

広告掲載エリア：JR 東海 東京駅・名古屋駅・新大阪駅
広告掲出期間：2026 年 10 月 1 日～11 月 30 日

※駅・車内係員へのお問い合わせはご遠慮ください。
※広告をご覧の際や撮影の際は、周囲のお客様へのご配慮をお願いします。
※広告掲出を終了している場合がございます。

■低 CO_2鋼材「ほぼゼロ」について



東京製鐵の未来志向のチャレンジ精神から生まれた、新しい低 CO_2鋼材です。「ほぼゼロ」の製造に使用する電力を、上げ DR（デマンド・レスポンス）や非化石証書を活用して再生可能エネルギーに切り替えることにより、鉄鋼製品 1 トンあたりの製造時 CO_2排出量を、従来の約 0.4 トンから約 0.1 トンまで削減しています。国内 4 工場で製造する全製品が対象で、電炉材の特性を生かし、「ほぼゼロ」価格は鉄鋼製品 1 トンあたりプラス 5,900 円と、リーズナブルな設定になっています。

「ほぼゼロ」特設サイト　URL：https://www.tokyosteel.co.jp/hobozero

■東京製鐵について

東京製鐵は、国内 4 か所の製造拠点を有する国内最大手の電炉鉄鋼メーカー。鉄スクラップを主原料に、脱炭素・循環型の鉄鋼製品へとリサイクルしています。2017 年には長期環境ビジョン「Tokyo Steel EcoVision 2050」を策定し、環境にやさしい電炉鋼材のシェア拡大を通じて、脱炭素社会・循環型社会の実現に日々大きく貢献しています。